

**令和3年度 第9回 高砂市上下水道事業審議会
議事要旨**

開催日時	令和3年10月4日(月) 10時00分～12時20分
開催場所	高砂市役所分庁舎 1階大会議室
会長等	山口会長、渡部副会長
出席者 (50音順)	西牟田委員、馬場委員、松本委員、山口委員、山本委員、渡部委員
欠席者	埴岡委員
議 事	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 上下水道事業管理者あいさつ 3 委嘱状交付 4 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 会長、副会長の選出について (2) 高砂市水道事業の現状と今後の運営について (3) その他 5 閉 会
資 料	(次第書) 令和3年度第9回高砂市上下水道事業審議会会議次第 高砂市上下水道審議会委員名簿 (資料1) 高砂市水道事業の現状と今後の運営について (資料2) 米田水源地更新基本設計業務委託公募型プロポーザルの実施について
議事の経過	
発言者	発言の要旨
事務局	1 開会 <本日の進行について説明> <本日の資料の確認> <審議会傍聴の許可、議事経過及び写真撮影の許可、市のホームページへの掲載 了承願い> → 承認 <出席者紹介> 2 上下水道事業管理者あいさつ 3 委嘱状の交付 <管理者が委嘱状を読み上げ、代表委員へ手渡し、委員の委嘱を行った。(全委員 へ委嘱状交付)> 4 協議事項 (1) 会長、副会長の選出について <立候補者なし> <事務局からの提案により、引き続き会長に山口委員、副会長に渡部委員を推薦 → 拍手により承認>

	<p><会長、副会長による挨拶></p>
事務局	<p>ここからの議事進行については、山口会長よろしくお願いたします。</p>
会長	<p>それでは次第に沿って進めてまいります。</p> <p>(2) 高砂市水道事業の現状と今後の運営について</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><1. 水道事業の概要 2. 給水収入の状況 3. 施設の状況 について説明></p> <p><ビデオ視聴></p> <p><4. 経営の状況 5. 水道事業経営戦略の取り組み について説明></p>
会長	<p>ご意見・ご質問はありますか。</p>
委員	<p>給水人口について、毎年700人から800人減っているということですか。</p> <p>シミュレーションもしているようですが、人口減少率がより激しいのか見立て通りなのかどうなのでしょう。</p>
部長	<p>厳しい下げ幅になっていくのかと思います。</p> <p>核家族化が進んでおり、人口は減っているがメーター数は増えている。1人世帯や2人世帯が増えているということなので、水道使用量も水道料金収入も上がっていかない状況と今は推測しています。</p>
委員	<p>有収水量が減少しているということですが、有収率は何%ぐらいですか。</p>
部長	<p>90%を目標としていますが、ここ数年高砂市は90%を若干下回っています。</p>
上下水道部	<p>令和2年度の決算では、年間有収率が89.6%です。</p>
委員	<p>浄水施設は8万3千立米の水をつくる能力がありますが、現状はどうですか。</p>
上下水道部	<p>給水量、配水量でいうと、1日当たり約3万3千トンです。</p>
会長	<p>人口減少や配水量等の今の数値をベースに、今後の水道施設能力等を考えていくということですね。</p> <p>そのほかに何かございますか。</p>
委員	<p>耐震化が進んでいないということですが、地震があったのは20年以上前であるのに、なぜ今なのか、もっと早くできなかったのか、説明していただきたい。</p>

上下水道部	高砂市では平成 23 年の台風で浸水被害を大きく受けました。市として浸水被害を第一に考えたところ、その影響もあり計画に齟齬が出てきたというところです。
委員	分かりました。 それから、細かい数字や何万立米という表現は一般市民には分かりにくいです。水道料金を 3 年から 5 年で適正な時期に見直すということですが、30%上げて将来どうなるのでしょうか。30%からまた増えるのか、計画を示してほしいです。
上下水道部	昨年度、経営戦略を作成しました。今後の実施事業で主なものは米田水源地の浄水施設の再構築や配水本管の更新事業があり、これらを含めて収支計画を立てています。投資・財政計画の見直しをしていく中で、水道料金の 30%値上げで試算すると、令和 20 年度に赤字が発生するという見込みです。当年度の内部留保資金については令和 13 年度に資金不足が生じる予測ですが、状況により変化していきますので、3 年後 5 年後に見直していく必要があります。
委員	米田水源地は 5 年間で耐震化できるが、配水管は 5 年でどれくらい替えられるのでしょうか。
管理者	資料 23 ページの経営戦略は令和 12 年までのものです。 投資目標として令和 12 年までにどうするかということですが、米田水源地の沈殿池・ろ過池、現在耐震化率はゼロ%ですが、これを 100%に引き上げていく。 それと、米田水源地のダウンサイジング、人口減少がある中で現在の施設規模と乖離がありますので、まずは 1 日の処理能力を 3 万 6,200 立米に。ここまで下げることによって改築の費用も下げていく。管路の耐震化率については現在の 2.5%から令和 12 年までに 15%まで伸ばしていく。これをやりきるとすれば、30%の改定が必要ですが、当然 5 年程度で見直しを行っていきます。その中で 5 年後は料金改定なし、もしくは社会状況の変化があればその段階で料金改定をするということことです。
委員	令和 13 年に資金不足になる原因は何ですか。
管理者	米田水源地の施設更新は先にしていきますが、管路のほうもしていかないといけない。不足の部分を内部留保で賄っていこうとすれば、令和 13 年以降に赤字になっていきます。
会長	人口が減り、使う量が減ってきているというトレンドの中で料金改定をしていかないといけないが、料金を上げてもどこかで逆転するタイミングが出てくるということですね。 料金改定も 5 年なら 5 年と期間を決めて、審議会をきちんと開いて決定できるよ

	<p>うしておかないといけない。料金表も複雑であると徴収にも手間がかかってくる。審議会で一つずつ解決して方針を決めていかないといけないのかなと思います。</p> <p>市民の人にとっては生活の一部の費用となるので、職員には批判が出る所となり大変だと思いますが、今後を成り立たせていくためにはここできちんと値上げしていかないと市民生活が立ち行かなくなってくるので、よろしく願いいたします。</p> <p>そのほか何かご質問はありますか。</p>
委員	<p>料金体系を用途別から口径別にした場合、今までの料金表は複雑になるのでしょうか。現在の用途別も、家事用と営業用の中で口径別があるのでしょうか。</p>
上下水道部	<p>現在は家事用と営業用に区別されているだけで、口径は関係ありません。</p>
部長	<p>区別については、初めに営業用で申請した場合、今は住居として使っている場合であっても変更申請せず、ずっと営業用の負担がかかっているという場合もあります。今後は口径別にしたほうがはっきりとして、分かりやすくなるのではないかというのが、全国的な流れとなっていると考えています。</p>
委員	<p>従量料金についても、家事用と営業用で幅が異なっているのですか。</p>
上下水道部	<p>家事用と営業用で従量料金に関しても違いが生じています。</p> <p>口径別にした場合に従量料金をどのように設定していくのかは、現在料金シミュレーションしている段階です。</p>
会長	<p>家事用・営業用というのは用途の変更等、事務的負担が非常に大きいと思います。口径別に決めていくと、すでに設定した料金で支払ってもらうことになるので、手続きやシステムづくりとしては比較的スムーズになるということですね。</p>
委員	<p>用途別から口径別に料金体系を変えるのは、最近のブームなのでしょうか。</p> <p>それとも、以前から圧倒的に口径別のほうが多かったのでしょうか。</p>
上下水道部	<p>調べたところ、昭和40年代では用途別は99%でありましたが、平成7年頃には口径別のほうが割合は高くなったという資料がありました。</p> <p>令和2年4月現在では、用途別が約30%、口径別が約60%であり、今後の料金改定では、口径別のシミュレーションをしていく自治体が多いのかなと考えております。</p>
委員	<p>公平で分かりやすくなると思いますが、副次的な効果として収益が上がりやすくなるということはあるのですか。</p>

上下水道部	それも踏まえてシミュレーションをしています。まだまだ分析不足であります が、用途別から口径別に変える影響というものをきっちり把握したうえで進めて いかなければならないと思っております。
管理者	現在、家事用で基本料金 530 円、営業用で 870 円であり、従量料金については環 境の問題もあり、逓増制を採用しております。 今後は口径別により基本料金を上げ、逓増制の部分を緩くしていくことで、節水 による料金の影響を下げていくという効果も出てくると思います。
会長	料金をどのように設定すればいいかということは、もう一度きちんと説明してい ただく必要があると思います。 学者の意見より、市民の皆さんの意見のほうが重要ですので、ご自身の感覚で 色々意見を言っていただきたく思います。
委員	料金のことですが、30%値上げといっても全員が 30%とはならず、ある口径 を使っている人は 20%の値上げになり、ある口径を使っている人は 40%の値上げ になるという可能性はありますか。
部長	そういうケースが出てくることも考えています。うまく調整し、平均 30%という ところでシミュレーションしていきます。
管理者	30%というのは効果額ベースです。30%程度の効果額が出るように、どう振り分 けていくか。低所得者層にはもう少し下げるかもしれない、色々な配分の仕方が 出てくると思います。
委員	市民に説明するのであれば、円グラフなどで総収入や支出を示し、それを 30%上 げたらこうなります、というような説明の方が市民は分かりやすいと思います。
部長	円グラフの記載など、他市や厚労省等の資料も参考にし、市民説明会では分かり やすい資料を準備したいと思います。
委員	説明会に出席される市民の方というのは比較的高齢の方や時間のある方になりま す。実際に負担を多く強いられる若者はあまり出席できないのかなと思います。 若い世代の方に上下水道事業の状況をどうやって知らせていくかということが重 要な課題であり、住みやすい高砂、住んでいただく高砂というのを全体で考えて いただきたく思います。 広報活動については、小学校や中学校でしっかりと学ぶような機会をつくり、学 校と連携して取り組んでほしいと思います。

<p>部長</p>	<p>説明会は、やはり若い方はあまり来られないので、SNS 等を利用した発信を考えていかなければならないと思っております。</p> <p>学校関係については、コロナ禍でも小学校 4 年生の方に社会見学で水源地を見ていただいております。阿弥陀小学校では、学校行事の田植え活動の際に給水車を持っていき、水に親しんでもらう機会をつくっています。今後も広報活動を進めていきたいと思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>少しずつお互いにやり取りしながら理解していけたらと思います。</p> <p>それでは、協議事項（3）その他について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>（3）その他について</p> <p><米田水源地プロポーザルに関する状況について></p> <p>米田水源地更新基本設計業務委託公募型プロポーザルを実施し、選定委員会において審査した結果、株式会社日水コン兵庫事務所を最優秀提案者に決定いたしました。（その他、今後のスケジュール説明）</p> <p><水道料金シミュレーション業務委託について></p> <p>委託業者である E Y 新日本有限責任監査法人と進めていきます。今後も当審議会での貴重な貴重な御意見、忌憚のない意見をいただいて、より良い料金体系になるよう取り組んでいきますので今後ともよろしく願います。</p> <p><今後の日程について></p> <p>次回の審議会の開催時期については12月頃の開催を予定しております。日程が決定次第、御連絡させていただきます。</p>
<p>会長</p>	<p>そのほか何か委員の皆様、参加の皆さんから何かございますでしょうか。</p> <p>ほかになければ、これで本日の協議は全て終了しました。</p> <p>5 閉 会</p>